

新 審 査 方 法

2005年10月1日

社団法人日本ボディビル連盟 審査委員会

項 目	現 在	改 定 案 (新方式)
ピックアップ審査 (例:12名)	<p>選手番号を記入してある審査用紙の右の欄に記入する。</p> <p>選手が多数の場合、審査用紙の一行の幅が狭くなり見難くなるとともに、間違っ上や下の選手番号に を付けてしまうミスがあった。 集計係りは、審査用紙を並べてホッチキスで止め、ピックアップ数を数えて予選進出者を確定する。 その後、*を行を間違えないよう細心の注意を払ってパソコンに入力しなければならないので、作業時間が大幅にかかり、大会運営のネックとなっているのが現状。</p>	<p>審査用紙の記入欄に選手番号を記入する。記入順は選手番号順にする必要はなく、順不同でかまわない。</p> <p>審査用紙に12名の選手番号を記入するだけなので、選手が多数の場合でも一行の幅は狭くならない。 集計係りは、選手番号をパソコンに入力するだけなので、*を入力するよりも作業時間が大幅に削減する。(現在の3分の1以下)</p>
予 選 審 査 (例:12~15名)	<p>選手番号を記入してある審査用紙の右の欄に順位を記入する。</p> <p>多くの審査員が、審査員控に順位順に選手番号を記入してから、審査用紙に選手番号順に記入するので、転記ミスをする審査員が見受けられる。 集計係は、ピックアップ審査を終了後、予選審査用紙に予選進出者12~15名の選手番号を記入して審査員に配布する。 事前に予選審査用紙に選手番号を記入できないので大会当日多忙の原因となる。</p>	<p>順位の記入してある審査用紙の右の欄に選手番号を記入する。</p> <p>審査用紙には順位順に記入するので、審査員の考えがまとまりやすく、順位の入替えも容易で転記ミスも殆ど解消される。 集計係は、事前に予選審査用紙を作成できるので、大会当日、予選審査用紙に予選進出者の選手番号を記入する作業は不要となる。</p>
決 勝 審 査 (例:12名)	<p>選手番号を記入してある審査用紙の右の欄に順位を記入する。</p> <p>多くの審査員が、審査員控に順位順に選手番号を記入してから、審査用紙に選手番号順に記入するので、転記ミスをする審査員が見受けられる。 集計係は、予選審査を終了後、決勝審査用紙に決勝進出者12名の選手番号を記入して審査員に配布する。 事前に決勝審査用紙に選手番号を記入できないので大会当日多忙の原因となる。</p>	<p>順位の記入してある審査用紙の右の欄に選手番号を記入する。</p> <p>審査用紙には順位順に記入するので、審査員の考えがまとまりやすく、順位の入替えも容易で転記ミスも殆ど解消される。 集計係は、事前に決勝審査用紙を作成できるので、大会当日、決勝審査用紙に決勝進出者の選手番号を記入する作業は不要となる。</p>
集計係の人数	<p>集計係は、大会当日、審査用紙に選手番号の記入作業等があるので、2名必要。</p>	<p>集計係は、大会当日、審査用紙に選手番号の記入作業等がないので1名でも可能。</p>
改 定 の 効 果	<p>コンピュータで出来ることはコンピュータで行うことにより、審査員の考えがまとまり易くなり、審査ミスや転記ミスが減少し、審査と集計時間の大幅な短縮を図ることが出来る。</p>	

2005年10月1日開催の理事会・総会で、現在の「ゼッケン番号を記入した審査用紙に順位を入れる方式」以外に「順位を記入した審査用紙にゼッケン番号を記入する新方式」も採用できることに決定。